



# 心のくち

No. 81  
2020.12



「無重力」 宮本 久 会員

もくじ

シルバー応援大使 太田黒浩一氏講演会.....	1
生活援助型サービス事業所開設について.....	2
なごみ会グラウンドゴルフ・ゴルフコンペ.....	3
接遇 ハラスメント研修会.....	4
「ハラスメント研修会」に参加して.....	5
セルフチェックシート.....	6
事務局だより・日誌.....	7

## シルバー応援大使 大田黒浩一氏講演会

熊本県シルバー人材センター連合会主催によるセミナーが昨年夏に続き

八月二十六日(水)午後一時半から、熊本市民会館シアーズホーム大会議室において開催されました。

今回は新型コロナウイルス感染症対策として事前受講申し込み百名を対象に参加を呼びかけましたが、受講参加者六十余名でほとんどがシルバー人材セン

ター未加入の高齢者でした。

西島連合会会長の健康と仲間づくりについての挨拶のあと、中村事務局長から「シルバー人材センター事業」について説明があり、引き続き昨年

シルバー人材センター応援大使となり、人材センターPR等で大活躍中の太田黒大使の「シルバーライフを楽しむばい」と題して講演が始まりました。

### 講演は

- ・シルバーライフを楽しく過ごすためのコミュニケーションの取り方
- ・頭をつかって脳の活性化

を図る

・思い出せないことは思い出す訓練をする

・何事にもチャレンジする精神力を養う

・仲間づくりを大切に

等々、約一時間にわたり身振り手振りで流暢な熊本弁で講演がすすみ、

シルバー人材センターに入会して末永く健康を維持して頑張るって欲しいと結ばれました。講演のあと熊本市シルバー人材センターでは、塩津シニア専門員から「シルバー人材センター」の入会について説明があり、会場後方の一角二か所に相談所を設け、相談員が広報チラシを配布して入会相談に対応しました。

広報委員 田上 吉昭

### 随想

#### ヒグラシのこと

八月の暑い午後だった。近況報告をしてきた友人が「ああ昨日ね、ヒグラシが鳴いているのを聞いたよ」と言ってから電話を切った。

わざわざヒグラシのことを告げたのは、私にはそれなりの思いがあるということ、この友人が知っていたからである。「カナカナカナ」と哀調を帯びた鳴き声にひかれて山道を歩くのが大好きだった。そのきっかけは、まだテレビがなくてラジオを楽しんでいた時代のことである。

高校生の頃、「カナカナカナ」とヒグラシの声が流れて終わる放送劇を聴いた時、題名は忘れてしまったのに、その青年が恋人の死を悲しむ話が印象に残ったのだった。



## 生活援助型サービス事業所開設について

シルバー人材センターの近いシルバー会員によ

一九十五

は介護保険訪問サービス

島崎習得センター隣

の一つである要支援者の

電話番号 〇九六一二八

方を対象とした、清掃・

八一〇六二一

洗濯・調理・買物等の家

※事業所に三人の女性会

事援助の「生活援助型訪

員が対応にあたっています。

問サービス」を令和二年

二、事業所

十月十五日スタートしま

〒八六〇一〇〇七三

した。

熊本市西区島崎四丁目二

対象者は

広報委員 田上 吉昭

(一) 食事や排泄などは自分でできるが日常生活の一部に介助が必要な『要支援1』または『要支援2』の認定を受けた方  
(二) 基本チェックリストの判定に該当した方  
となっています。

一、訪問サービスの特徴  
(二) 利用者と比較的年齢



それ以来、ヒゲラシの鳴き声は哀しく、ギラギラした夏が終わりに近づいた季節にふさわしいとも思うようになった。

毎年、夫と山道にヒゲラシの声を聞きに行くのが楽しみだったが、夫が逝ってから親しい友人たちが山道へ同行してくれた。最近も私も友人もすっかり高齢者になってしまった。温泉宿で聞いたヒゲラシの声、暮れかけたレストランでの食事のこと、帰りの山道で夕立などが、しきりと思い出されてならない。

今夏の異常な暑さとコロナ禍を避けてのひっそりとした生活で、ヒゲラシの声にも季節の小さな移ろいにも気付かないでいたのかと反省するうちに、秋を迎えつつあるようだ。

会員 片田成子

なごみ会

第一回  
グラウンドゴルフ大会

県下数あるグラウンド

ゴルフ場の中でも指折りの空港グラウンドゴルフ場で、十月二十六日、シルバー人材センターなごみ会主催の第一回グラウンドゴルフ大会が開催されました。

当日は秋晴れの好天に恵まれ、広大な大地に手入れの届いた名門ゴルフ場で、南阿蘇外輪山や白煙を上げる雄大な阿蘇の山々を一望しながら競技が進められました。

大会には初心者からベテラン高齢者まで三十七名が参加、なごみ会会長、理事長の挨拶のあと午前九時、赤コート・青コート二面に分かれ一斉にス

タートしました。

競技は和気あいあいの中に進められ、驚くことにホールインワン達成者が十名に及びました。スタートから二時間余りで競技は終了、表彰式に移りました。

主な受賞者は次のとお



りでした。

- 優勝 柳田 孝
- 準優勝 上田 武寿
- 三位 田中 順一
- 四位 渡邊 義勝
- 五位 井 康二
- BB賞 清水まち子

他に当日賞、飛び賞等多くの賞が設けられ、参加者全員に賞品が授与さ

れ、次回コンペの参加を

約して帰途につきました。今回のコンペ開催については初開催で、事前の諸準備、当日の運営に携われたなごみ会役員の皆さんに厚く御礼申し上げます。

なごみ会会長  
広報委員 田上 吉昭

なごみ会

第二回  
ゴルフコンペ

今季最低の冷え込みとなった十一月十日(火)蒸気霧が発生、幻想的な光景が広がった谷間を眼下に見て、阿蘇東急ゴルフクラブでシルバー人材センターなごみ会主催の

本大地震で壊滅的な被害を受け昨年、三年ぶりに営業を再開されたクラブです。当日は秋晴れの青天で最高のゴルフ日和となりました。

「第二回ゴルフコンペ」が開かれ、愛好者二十八名が参加しました。

このゴルフ場は先の熊

クラブ前広場でなごみ会会長・シルバー人材センター理事長の挨拶のあと午前九時アウト・イン同時スタートとなりました。

和気あいあいの中でプ

レーが進められ、参加者は高齢者とは思えない技術の高さを示し、戦略に富んだ十八ホールを半数以上の参加者がグロス一〇〇を切り、なかには、エイジシユート（年齢より少ない打数）を達成された会員もありました。競技終了後レストランで表彰式に移りました。主な受賞者は次の会員でした。

- 優勝(七十二・八) 井 康二
  - 準優勝(七十二・八) 中村 昭範
  - 三位(七十四・四) 池田 洋
  - 四位(七十四・四) 森 昭輔
  - 五位(七十四・六) 倉岡 映
- B B賞

緒方 司郎

他に当日賞・ラッキー賞・ゾロ目賞等多くの賞が設けられ全員が参加賞を受賞、最後に互いの健闘を称えあい盛会に終わりました。

次回もグラウンドゴルフ、ゴルフコンペと多数の参加者をお待ちしております。

広報委員 田上 吉昭



## 接遇 ハラスメント研修会

令和二年九月八日・十日・十八日の三回、熊本市国際交流会館会議室にて、管理部会・剪定部会・一般作業部会の合計約八十名が研修会に参加されました。講師は、熊

本学園大学 社会福祉部 教授 山崎史郎氏で、「パワハラのない、働きやすい環境を目指して」と題して、講演が始まりました。事前に作成された資料の要点などをわかりやすく説明があり、今まで生活してこられた長い時間での常識など経験が多

いほど、気付かないハラ

スメントがあるなど、興味深い内容でした。途中、パワハラについての動画を視聴し、注意点などの説明が行われました。  
<https://www.no-harassment.nhlw.go.jp/> (参考動画)

最後に、シルバー人材センターの場合は、会員自身の自覚、良い職場の精神風土をつくるという気持ち、会員同士の良いコミュニケーション、他の会員への配慮や相談などに気を付けて就業に励んでもらいたいと締めくくられました。

## 「ハラスメント研修会」に参加して

令和二年十一月四日  
(水)、熊本国際交流会館において部外講師を招いて「ハラスメント」問題に関する研修会が開催され、役員約二十六名が参加しました。

講師は、「キャリアアデザインネットワーク(株)代表取締役「高木 奈穂」氏で、「産業カウンセラー人材育成コンサルタント」として全国的に活動されている方でした。

今回の研修会は、社会的にも大きな問題となっている、「ハラスメント」に対する問題点、対策、心構え等についての講演でした。

- ① ハラスメントの基礎知識
- ② ハラスメントの実際
- ③ ハラスメントをおこさな

いために  
ハラスメントは、広義に

は「人権侵害」を意味し、人格に関する言動などによって相手に不快感や不利益を与え、その尊厳を傷つけることで、近年職場における「ハラスメント」が増加し、人事管理上深刻な問題となつてきているとのことです。

「ハラスメント」の種類  
○セクシャルハラスメント  
(セクハラ)

職場において行われる労働者の「意に反する」性的言動により、労働者とその労働条件について不利益を受けたり、就業環境が害されること。

○パワーハラスメント  
(パワハラ)

職務上の地位や人間関係などの職場内での「優位性」を背景に、業務の適正な範囲を超えて、精神的、身体的苦痛を与える又は職場

環境を悪化させる行為。

これらは、立場から考えると、「被害者」又は「加害者」になつても精神的苦痛を伴い大きな問題を抱えることとなり、また、事務所やそこに働く職員に与える影響も大きく「法的責任」を負い、職場の士気にも悪影響を及ぼすことになる。

「ハラスメント」は言動を発する側に何ら意識はなく普通のこととして発しているも、受ける側がどう受取ったかによって判断されるものである。

我々、昭和生まれは、小中高生時代の部活動はもとより、仕事場においても先輩、後輩、先任者との関係がとても厳しく、強い言動によって注意、指導を受けた。特に危険を伴う作業には厳しかった。

このような指導は当然のこととして受け入れている、自分が指導者の立場になつ

ても全く同じように、危険を伴う作業には厳しく注意、指導をしていたように思う。

厳しい指導にも、相手に対し「愛情」からと思つていたが、これは、真に「ハラスメント」行為である。

最近、小中高生の部活動においても暴言、暴力による指導は厳しく問われている。

日常の会話、業務上の指示、指導等においても相手の立場を十分に理解し思いやりを持って接することが大事である事を痛感させられました。

※あなたも、ハラスメントに対する次の表で「セルフチェック」をしてみませんか。

○チェックが多く入った人は「加害者」となる可能性があるので注意してください。

広報委員 坂口 毅

◇ セルフチェック

(1) セクシャルハラスメント

	チェック項目	
1	女性を「〇〇ちゃん」と呼ぶのは親しみの表れであり、他意はないと思う。	
2	「男のくせに根性がない」「女には仕事を任せられない」などと、つい言ってしまったことがある。	
3	女性であるだけで、掃除や私用を依頼することがある。	
4	職場の懇親会等の席で、お酒の酌や隣に座ることを無理やりさせたことがある。	
5	人の性的な事柄について、職場で話題にしてからかったりしたことがある。	
6	子どもが小さいうちは母親は家庭で育児に専念すべきだと、職場で発言したことがある。	
7	容姿やプロポーションについて、あれこれ言ったことがある。	
8	女性は職場の花であると思う。	
9	『女性はこうあるべき』とか『男性はこうあるべき』という理想論がある。	
10	よろしく！と相手の肩をポンとたたいたりする。	

(2) パワーハラスメント

	チェック項目	
1	部下や年下の人から意見を言われたり、口答えされたりするとイラッとする。	
2	自分が間違っていたとしても、年下に対して謝ることはない。	
3	自分は短気で怒りっぽいとおもう。	
4	感情的になって、すぐその場で怒ることがある。	
5	厳しく指導をしないと、人は育たないと思っている。	
6	なんとなく気にいらぬ人や目障りと感じる人がいる。	
7	仕事のできない人には、仕事を与えないほうが良いと思う。	
8	規則やルールを守らない人には、仕事をさせないほうが良いと思う。	
9	周りの人が自分の顔色をうかがっているような雰囲気がある。	
10	できるリーダーは、一緒に働く人の家庭環境などプライベートなど詳細情報まで把握しているものだと思う。	
11	学校やスポーツで体罰をする指導者の気持ちは理解できる。	

## 事務局だより

〒860-0833  
熊本市南区平成1丁目10-18  
(熊本市健康センター平成分室2階)  
TEL 096(322)3300  
FAX 096(322)3324

### 「あんしんメール」

#### 登録について

未登録の方は、登録に御  
協力をお願いします。

現在、毎週シルバー人材  
センターの行事予定など定  
期的に配信しております。

設定については事務局で  
お手伝い出来ますので気軽  
に御相談ください。

## 日誌

### 令和2年

- |                                   |                                   |
|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 8月20日 なごみ会幹事会                     | 27日 専門委員会                         |
| 26日 太田黒浩一氏講演会                     | 28日 決算ヒアリング・新入会員オリエンテーション         |
| 27日 理事会・剪定部会会議                    | 29日 決算ヒアリング・連合会派遣事業巡回指導・国庫補助担当者会議 |
|                                   | 30日 健康応援合同面談会・健康セミナー              |
| 9月 3日 管理業務部会会議                    |                                   |
| 8日 ハラスメント研修会 (管理部会)               | 11月 2日 なごみ会幹事会                    |
| 16日 ハラスメント研修会 (一般作業部会)            | 4日 ハラスメント研修会 (役職員)                |
| 18日 ハラスメント研修会 (剪定部会)              | 10日 なごみ会ゴルフ大会                     |
|                                   | 11日 新入会員オリエンテーション                 |
| 10月 1日 監事監査 (現場巡回)                | 12日 安全巡回指導                        |
| 8日 なごみ会幹事会                        | 13日 総務委員会                         |
| 9日 会員拡大就業開拓担当者会議 (オンライン)・管理業務部会会議 | 16日 監事中間監査・適正就業担当者会議 (オンライン)      |
| 14日 新入会員オリエンテーション<br>安全適正就業委員会    | 17日 一般作業部会会議・NRI オンライン研修          |
| 15日 生活援助型訪問サービス事業開始               | 18日 広報委員会                         |
| 16日 県後期高齢者医療運営協議会                 | 25日 新入会員オリエンテーション                 |
| 21日 除草草刈講習会                       | 26日 シニア就業相談会                      |
| 23日 県S C連合会就業相談会                  | 27日 なごみ会幹事会・新入管理希望会員研修            |
| 26日 なごみ会グラウンドゴルフ大会                |                                   |

### 熊日読者文芸

#### 俳句の部 特選

醍醐味は 三密で見ると 火花かな

会員 相馬 妙子

【評】密閉、密集、密接。新型コロナウイルス感染を防ぐために避けなければならないのが、この三つ。それはよくわかってはいる。けれども、揚げ火花は誰もいない広場で一人で見てもつまらない。寂しさが増すばかり。せめて俳句の中で三密になつて火花を楽しもうという句。

### 熊日読者文芸

#### 川柳の部 入選

先人と いかにも生きるか 智恵くらべ

会員 相馬 妙子

### 火のくに 投稿作品

#### 免許返納

おしゃべり上手が だまらした

会員 萩本美紗子